

小田急沿線の風景に思い



「豪徳寺駅 2番ホーム」

水彩スケッチ12点展示

重茂佳伸 喫茶ママで15日まで

岩手高OB有志の美術展「石桜モンパルナス」メンバーの重茂佳伸さん(80)「盛岡市長田町」は15日まで、個展「小田急沿線のII(豪徳寺駅×成城ハイム前)」を喫茶ママ(盛岡市本町通り)の8の10で開いている。2002年に小田急線の駅前などの風景をその場でスケッチした12作品を展示。東京の知人が同じ場所の現在の様子の写真を送って、見たといい、街の変化と併せて水彩スケッチの味わいを楽しめる。

少年時代、画家の深ん。昨年同じ趣向で開 京都から郷里の盛岡に 識しなかったが、工事 沢省三・紅子夫妻の図いた個展の続編として 戻る前に、小田急沿線 中の駅が多かったよう 画教室で描く楽しみを「そのII」と付けた。をまとめてスケッチ。だ。ただ駅を描くとい う気持ちで描いてい た。お振り返り、現在の 写真と見比べて「少し ずつでも工事を続ける と、きれいになるもの だ」と実感をおくする。

「豪徳寺駅 2番ホーム」は階段を上から 見下ろす構図。階段を 降りた先に描かれた多 摩川の玉石を組み重ね て作られた箇所につい て、「味があるから好き だった」と回想。「描い ている時に教え子が通 り、「先生はなんでこ んなどころで絵を描い てるのか?」と不思議 そうに見ていた。そう いうのを思い出すと、 あの子はどっしている だろうと思つ」と笑み をこぼす。

個展の開催を喜ぶ重茂さん(左端)。喫茶ママには同窓生や仲間も集う

会場には重茂さんの 自作短歌7首も掲示。 新型コロナウイルス禍 の生活や個展を開ける 喜びを詠み、「作品のよ しあしよりも作者の心 清尚奇心に無極酔心」 の歌で結ぶ。「うまご、 へたより、楽しんで描け たらいい。見る人にも 一緒にその場で描いて いる気持ちになっても らえたら。見てどんな 風に感じるかも聞いて みたい」と話した。 午前11時から午後9 時まで。日曜定休。

